

愛なき女 (1951)

UNA MUJER SIN AMOR

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 メキシコ

色彩 B&W

時間 86分

初公開日 1987/08/15

公開情報 ヘラルド・エース

【解説】

モーパッサンの『ピエールとジャン』を原作とするブニュエルにしてはまともすぎるメロドラマで、彼自身“完全な注文映画、この作品については語りたくない”とコメントしている。古美術商を営む夫は妻のロザリオに冷たかった。それはかつての妻の不貞を許せないせいだ。ある日、成人した次男カルトリスにアルゼンチンから莫大な遺産が転がり込む。贈り主は傷心のままロザリオと別れた、25年前の駆け落ちの相手。もとより不仲の兄弟だったが、急に裕福になった弟を羨む兄は母の隠し持つ写真から、事の大筋のみを知り、弟の出生を疑う。危うく殺し合うほどの口論を仕掛けた時、母は兄弟に決然と自らの過去を明かし始めるのだった……。ラストの激しいタッチにおいて、ようやくブニュエルが僅かに託し得た“意志”を読み取ることができる。

【クレジット】

監督	ルイス・ブニュエル	Luis Bunuel
原作	ギイ・ド・モーパッサン	Guy de Maupassant
脚本	ハイメ・サルヴァドール	
撮影	ラウル・マルチネス・ソラレス	Raúl Martínez Solares
音楽	ラウル・ラヴィスタ	Raul Lavista
出演	ロザリオ・グラナドス	
	フリオ・ピラリアル	
	ティト・フンコ	Tito Junco
	ホキアン・コルデロ	
	ハイメ・カルペ	